

平成30年度

事業報告

社会福祉法人高浜市社会福祉協議会

平成30年度 事業報告

これまでの公的福祉サービスは、高齢者、障がい者、子どもといった対象者ごとのニーズに対して、福祉施策を充実してきました。しかしながら、各制度が成熟化する一方で、既存の縦割りの体制では対応できない課題も生じています。そうした中、国は、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながる「地域共生社会」の実現を進めています。

そこで、本会は、地域住民が、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が支え合いながら安心して生活できるよう、地域住民の互助・共助の基盤づくりを進めるために、以下の事業に取り組んでまいりました。

1 高齢者・障がい者・子どもを含む包括的な支援

高浜市が進めている地域特性に応じた「たかはま版地域包括ケアシステム」の構築について、本会では高齢者、障がい者、子どもを始めとする全ての人が住み慣れた高浜で安心して暮らしていけるまちづくりの推進において、その一端を担えるよう努めてきました。

コミュニティーソーシャルワーカー（CSW）が地域に訪問することで、地域ニーズを把握し、そのニーズに即した発掘等社会資源の開発やネットワーク化などに努めました。

2 日常生活における困りごと対応力の強化

総合相談窓口である「いきいき広場」の機能の一つとしての役割をしっかりと果たすために、「生活困窮者自立支援事業」では、相談者が日常的な生活を自らの力で維持できるように、各種関係機関と連携した支援を行いました。また、「権利擁護支援センター事業」では、窓口の対応をする職員に対する研修会の開催等により、窓口で相談者の尊厳や人権が侵されることのない支援となるように努めました。

3 ボランティア活動の推進

市内で活動されているボランティア活動のさらなる推進を図るため、ボランティア活動者の発掘、参加促進に努めるとともに、情報交換や共有を行いボランティア同士のつながりを強められるよう井戸端会議を開催しました。

また、市内宅老所のボランティア拡充のため、食事作りボランティア体験講座などを行い、新たなボランティアの発掘を行いました。

4 子育て支援事業の推進

本会が運営する保育園、子育て支援センター、中央児童センター、中央児童クラブ、家庭的保育等の子育て支援施設が、保健センターやこども発達センター等各種関係機関との連携を図り、安心して子育てができる環境整備に努めました。

5 障がい者の地域生活支援づくり

平成30年度から障害者地域自立支援協議会に新たに設置した「地域生活支援拠点部会」で、障がい者の24時間365日の相談支援体制や緊急時の受け入れについて現状と課題などについて意見交換をしました。令和2年度設置に向けて具体的に検討していくことになりました。

6 高齢者への在宅福祉サービスの充実

要支援者等の方に対する効果的かつ効率的な支援等を目指す「介護予防・日常生活支援総合事業」を、南部デイサービスセンターでも実施することで、要支援者等の方に対する支援の拡充に努めました。

また、本会は子どもから高齢者、障がい者も含め、誰もがともに、いきいきと暮らせるように、宅老所や、ふれあいサロンの運営を行うとともに、地域のボランティアの協力を得て、地域に密着した形で気軽に来れる居場所として、地域共生型施設の運営にも努めました。

7 法人内連携の強化・人材の育成

法人内の人材育成として、法人の新人職員研修や、介護職への介護現場の利用者への虐待防止等の研修を行い、本会の使命を組織全体、全職員で取り組めるよう体制整備に努めました。

[主要成果]

I 社会福祉事業

1 法人運営部門

【決算額：56,201,347円】

(1) 法人運営事業

【決算額：42,248,188円】

① 会員募集

社会福祉協議会の会員として納めていただく会費は、ボランティア活動をはじめとした様々な地域福祉活動を実施していくうえでの大切な財源のひとつとなっています。

多くの皆様が本会事業の趣旨に賛同し会員となり地域福祉活動を支えてくださいました。

区 分	会 費	会員数	(備 考)
一 般 会 員	2,251,995円 (2,292,480円)	7,808人 (8,095人)	年額 300円/口
特 別 会 員	57,900円 (63,100円)	54人 (59人)	年額 1,000円/口
法人(団体)会員	479,000円 (507,000円)	45社 (46社)	年額 2,000円/口
合 計	2,788,895円 (2,862,580円)	—	—

② ボッチャ普及の取り組み

だれでも気軽に楽しめる障がい者スポーツ「ボッチャ」の普及を通して、障がいに対する理解の促進、年代を問わないコミュニケーションツールとして活用できるように取り組みました。

■ ボッチャ普及連絡会の開催

回数：年間6回（4回） 参加人数：延べ72人（延べ49人）

■ ボッチャ普及の取り組み

取り組み	回数	参加者（人）
小学校、高等学校での福祉教育～障がい者スポーツを知ろうボッチャ体験～	6 (5)	580 (547)
健康自生地フェスタ×チョイと健康フェスティバルでのボッチャ体験コーナー	1 (1)	75 (80)
児童センターでのボッチャ体験コーナー	4 (4)	125 (120)
わくわくフェスティバル 企画 ～輪 ボッチャ普及大作戦 part2～	1 (1)	214 (202)
第5回たかはまボッチャ競技大会	1 (1)	153 (162)
あっぱ開所2周年祭でボッチャ体験コーナー	1 (1)	50 (40)
全いきいきクラブ ボッチャ大会 協力	1 (1)	79 (36)

③ 保育所施設設備整備積立資産

積立金残高

7,002,000円 (4,001,000円)

(2) 基本財産積立事業 【決算額：0円】

積立金残高	2, 1 0 0, 0 0 0 円 (2,100,000 円)
-------	---------------------------------

(3) 退職給与積立事業 【決算額：13,951,693円】

退職共済預け金残高	2 0, 7 2 4, 1 2 0 円 (20,764,110 円)
積立預金残高	7, 5 8 4, 8 4 5 円 (7,583,302 円)
預貯金残高	5 1, 9 3 1, 6 0 3 円 (50,592,895 円)
計	8 0, 2 4 0, 5 6 8 円 (78,940,307 円)

(4) 福祉基金運用事業 【決算額：531円】

福祉基金残高	9, 6 2 1, 5 9 6 円 (9,621,065 円)
--------	---------------------------------

(5) ボランティア基金運用事業 【決算額：935円】

ボランティア基金残高	9, 3 7 1, 3 9 1 円 (9,370,456 円)
------------	---------------------------------

2 地域福祉活動部門(自主事業) 【決算額：10,460,148円】

(1) 地域福祉活動事業 【決算額：4,704,234円】

① 社会福祉協力校(福祉実践教室開催校)指定事業

社会福祉協力校指定(助成)事業	8校 (8校)	772,737円 (783,092円)
-----------------	------------	------------------------

② 心配ごと相談事業

市民の日常生活のあらゆる相談に対し、専門家である弁護士が応じ、適切な助言、援助を行い、相談支援体制の強化を図ると共に地域住民の福祉の増進に努めました。

■相談所開設日数 24日(月2回)

相談内容	相談件数
離婚	16 (20)
相続	16 (22)
人間関係トラブル	7 (4)
金銭トラブル	1 (9)
家庭内・夫婦間トラブル	7 (6)
不動産トラブル	16 (9)
借金・自己破産	11 (6)
その他	27 (20)
合計	101 (96)

③ 車椅子貸出事業

在宅の要介護者及び身体障害者等に対し車椅子を貸し出し、日常生活の便宜や外出の促進を図り、その福祉の増進に努めました。

■利用状況(年度末所有台数66台)60台稼動

利用者数 150人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出(件)	39(37)	34(43)	29(31)	29(34)	36(41)	30(36)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40(32)	34(40)	30(29)	33(24)	29(30)	42(35)	405(412)

④ 助成事業

福祉団体の活動を支援し、福祉の増進に努めました。

区分	団体(園)数	助成額(円)
福祉団体に対する助成	16(16)	1,095,000(1,145,000)
一般助成	12(12)	440,000(440,000)
指定助成	1(1)	385,000(435,000)
特別事業助成	3(3)	270,000(270,000)
高齢者と園児とのふれあい事業	4(4)	31,897(39,859)
計		1,126,897(1,184,859)

⑤ わくわくフェスティバル

「つながり、支え合い、安心のしくみづくり」を基本理念として、地域に暮らす一人ひとりが共に支えあう地域福祉活動を推進するために開催しました。

- ・主催 高浜市わくわくフェスティバル実行委員会
- ・日時 11月4日(日) 午前9時30分～午後3時00分
- ・場所 高浜市いきいき広場一帯
- ・テーマ もっとつながれ「話・輪・和 つながりの輪は∞(無限大)」
- ・出展団体 ボランティア・市民団体等 63団体(61団体)
- ・協力団体 ボランティア・賛助企業等 15団体(18団体)
- ・ボランティア 延べ200人(248人)
- ・来場者数 3,500人(3,700人)

(2) ボランティアひろばセンター事業

【決算額：4,231,485円】

個人だけでなく、団体間の連携や、新しい取組などをしっかりサポートしていただけるボランティアひろばセンター運営に努めました。

また、ボランティア活動人材の発掘と育成に努め、活動への参加促進を図りました。

■ ボランティア登録

	人数等
団体	115団体 2,113人 (113団体 1,938人)
個人	29人 (99人)
合計	2,142人 (2,037人)

■ ボランティア保険

	件数等
活動保険	1, 491人 (1,506人)
行事保険	41件 (37件)
移送保険	9人 (10人)

■ ボランティア相談・コーディネート

	人数
ボランティアの支援相談	258 (284)
ボランティアの活動相談	7 (4)
コーディネート件数	265 (288)

■ ボランティアセンターだよりの発刊 年5回

■ ボランティア講座の開催

講座名	回数(回)	参加者(人)
食事作りボランティア【体験講座】	1	2
お正月おもてなし料理	1	18
碧海5市災害ボランティアコーディネーター養成講座(公開講座を含む)	2 (2)	23 (7)
手話奉仕員養成講座 入門課程(29年度基礎課程)	22 (24)	10 (13)

■ ボランティア井戸端会議の開催

日時 3月16日(土) 9:45~12:00
 場所 いきいき広場 いきいきホール
 参加者 36人(20人)

(3) ふれあいサービス事業

【決算額：1,280,595円】

市民参加と協力による相互扶助の精神に基づき、家事、介護、移送サービス等を提供し、福祉の向上に努めました。

■ 会員登録

	人数(人)
利用会員	81 (97)
協力会員	20 (28)
賛助会員	51 (65)

■ 活動状況

	件数	活動時間
家事援助サービス	203 (167)	211 (202)
介護サービス	99 (109)	176 (170)
障がい者自立支援サービス	0 (0)	0 (0)

子育て支援サービス	4 5 (83)	4 5 (83)
移送サービス	5 8 5 (809)	6 2 6 (867)

(4) こころん号貸出事業

【決算額：243,834円】

■ 利用状況

	利用実績
件数	1 3 3 (161)

3 地域福祉活動部門(受託事業)

【決算額：37,762,303円】

(1) 生活支援員派遣事業

【決算額：2,058,525円】

判断能力の不十分な高齢者等に対し、福祉サービスに係る情報提供及び利用援助並びに金銭管理等を行う生活支援員を派遣し、要介護者等が地域において自立した生活が送れるよう支援しました。

区分	利用者(人)	延べ支援回数(回)
障がい者	1 7 (21)	7 9 5 (939)
高齢者	1 6 (14)	6 2 7 (471)

新規利用者 9件

(2) 高齢者給食サービス事業

【決算額：7,038,461円】

65歳以上の一人暮らしと高齢者世帯を対象に、市内の6店の協力を得て、毎日夕食を配達し、在宅において継続した自立支援と安否確認に努めました。

■ 1食単価 600円

区分	利用者数(人)	延べ配食数(食)
自立支援(本人負担350円)	6 6 (62)	1 0, 0 2 4 (9,398)
見守り(本人負担450円)	4 (8)	1, 1 4 3 (1,475)
計	7 0 (70)	1 1, 1 6 7 (10,873)

(3) 送迎サービス事業

【決算額：1,464,722円】

宅老所への送迎を実施しました。

区分	回数(片道:1回)	延べ人数(人)
宅老所	7 1 4 (712)	5, 7 4 2 (6,130)

(4) いきいき健康マイレージ事業

【決算額：555,297円】

■ 登録状況

区分	登録者(人)	
福祉ボランティア活動	新規	9 (7)
	更新	8 4 (105)
	辞退	0 (6)

■福祉ボランティア活動受入施設

区 分	施設数
高齢者関連施設	27 (26)
子育て関連施設	22 (22)
障がい者関連施設	5 (5)

(5) ライフサポートアドバイザー（LSA）派遣事業 【決算額：2,085,832円】

市内にある高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）、県営赤松住宅、県営葭池住宅で生活する高齢者に対して、生活援助員を派遣しました。

区 分	県営赤松住宅	県営葭池住宅	計
派遣日数	244 (244)日	244 (244)日	488 (488)日
緊急通報	0 (0)件	3 (0)件	3 (0)件
誤報	9 (14)件	32 (23)件	41 (37)件
生活相談	0 (5)件	1 (1)件	1 (6)件
対人関係	0 (2)件	0 (2)件	0 (4)件
その他	15 (38)件	16 (9)件	31 (47)件

(6) 居宅介護等支援給付事業 【決算額：16,677,809円】

介護用品や理・美容サービスが購入できる居宅介護支援券について、指定事業者の登録や居宅介護支援券の換金業務を行い、居宅における介護を側面的に支援しました。

区 分	店舗数	換 金 額 (円)
介護用品販売業	16 (16)	10,345,800 (10,840,300)
理容業	22 (23)	2,069,200 (2,189,000)
美容業	27 (30)	2,159,000 (2,414,000)
その他	4 (4)	426,400 (347,800)
合 計	69 (73)	15,000,400 (15,791,100)

(7) 生活支援体制整備事業 【決算額：7,896,457円】

■地域のニーズと資源の状況の見える化

- ・ひとり暮らし高齢者のニーズ把握

民生・児童委員のご協力により、ひとり暮らしの方に、日頃の生活において困っていることや不安なことの聞き取り調査を行いました。

対象者：70歳以上のひとり暮らし高齢者数(65～69歳の見守り希望者含む)

調査総数：778人

- ・地域資源一覧作成

■生活支援の担い手の養成や新しいサービスの開発

(高浜南部まちづくり協議会)

- ・地域において日中孤立になる可能性がある75歳以上の高齢者と未婚の子世帯を対象に地域の方に訪問していただくとともに、新たな担い手の拡充に努めました。
- ・まちづくり協議会と訪問の状況共有：毎月1回

気になる対象者には、訪問を行い、専門職へつなぎました。

- ・「青空市」の開催：毎週日曜日

(吉浜まちづくり協議会)

- ・高齢者いきがいグループによる地域の日中独居高齢者への見守り及び地域の高齢者を対象とした支援「お互いじゃんネット」の定着化に努めました。

(高取まちづくり協議会)

- ・まちづくり協議会、行政とともに、地域の方が集まれる場の検討を行いました。

4 地域福祉活動部門(資金貸付) 【決算額：536,348円】

(1) 生活福祉資金貸付事業 【決算額：246,000円】

	件数	合計金額(円)
貸付	0 (1)	0 (605,000)

※ 愛知県社会福祉協議会からの受託事業。

※ 貸付金は、愛知県社会福祉協議会より直接貸付。

(2) 愛の援護資金貸付事業 【決算額：5,096円】

	件数	合計金額(円)
貸付	0 (0)	0 (0)
償還	6 (3)	119,900 (35,000)
免除	3 (1)	195,000 (100,000)

※ 貸付限度額 100,000円/世帯

(3) 法外援護資金貸付事業 【決算額：285,252円】

	件数	合計金額(円)
貸付	21 (14)	259,900 (137,600)
償還	25 (32)	194,602 (186,600)
免除	4 (7)	100,998 (133,000)

※ 貸付限度額 30,000円/世帯

(4) 高等学校奨学金貸付事業 【決算額：0円】

	件数	合計金額(円)
貸付	0 (0)	0 (0)
償還	0 (0)	0 (0)

5 地域福祉活動部門(共同募金) 【決算額：3,804,309円】

(1) 高齢者福祉事業 【決算額：1,123,479円】

- ふれあいサービス事業
- 車いす貸出事業整備費
- 生活支援体制整備事業

(2) 障害児(者)福祉事業 **【決算額：360,790円】**

■おもちゃライブラリーの運営

■こころん号貸出事業

(3) 児童福祉事業 **【決算額：700,000円】**

■社会福祉協力校指定事業

(4) ボランティア等事業 **【決算額：1,520,040円】**

■社会福祉協議会広報紙「ふくし」の発行

■高浜市わくわくフェスティバル

■心配ごと相談

(5) 歳末助けあい事業 **【決算額：100,000円】**

■生活困窮・学習支援事業支援費

6 障がい者支援部門 **【決算額：39,168,590円】**

(1) 障がい者相談支援事業 **【決算額：39,168,590円】**

障がい者とその家族との相談やケース会議、障害福祉サービス事業所や関係機関との意見交換などを通じて、地域の課題を抽出し障害者地域自立支援協議会に挙げて検討しました。

「働きたい」を実現するため、障がい者のつながりを広げることを基本目標に、総合コーディネーター及び就労担当相談員を障害者相談支援事業所に配置し、企業、関係機関、地域と連携を図り障がい者の就労支援体制、就労後のフォロー体制の構築に取り組みました。

①相談支援

■相談実施状況

延べ1,098名の相談を実施しました。

障害別にみた相談件数は次のとおりです(単位：人)。

	身体 障害	重度心身 障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他	合計
障害者	159 (142)	8 (6)	290 (289)	263 (258)	31 (24)	9 (6)	14 (14)	774 (739)
障害児	41 (57)	5 (1)	187 (179)	3 (2)	85 (60)	0	3 (3)	324 (302)
合計	200 (199)	13 (7)	477 (468)	266 (260)	116 (84)	9 (6)	17 (17)	1098 (1041)

■市内の相談ネットワークの構築と人材育成

- ・こども発達センターと共同で、障害福祉サービスの利用も含めた子どもの発達についての支援を検討する「こども発達支援検討会議」を月2回実施しました。
- ・安城特別支援学校学区でもある西三河南部西圏域の障害者相談支援事業所が集まって、相談支援についての勉強会を2か月に1回開催しました。

- ・安城特別支援学校地区別懇談会に参加して、保護者とともに地域に必要な内容について話し合いました（年3回）。また、勉強会や障害福祉サービス事業所見学会などを共同企画して実施しました。

②就労支援

■就労支援の実施状況

- ・今年度は6名の就職支援をしました。就労担当が直接支援した人は3名、その他就労移行支援事業所と連携して支援した人は3名でした。そのうち3名は、次年度4月1日採用予定となります。
- ・就労継続に向けての支援や転職の相談を実施しました。

■就労支援についての人財育成やネットワーク構築

- ・市内の就労移行支援事業所などを訪問し、就職希望者について打合せや就労に関する情報収集を行ったり、職員向けの勉強会を企画実施したりしました。
- ・安城特別支援学校学区域でもある西三河南部西圏域の就労移行支援事業所などの事業所向けに、就労支援についての勉強会やセミナーを年2回開催しました。

③地域のしくみやカタチをつくる

■こども発達センターや園、小・中学校などとの連携

- ・こども発達センターと共同で、連続研修を3回実施したり、園や学校から障がい者支援センターまで相談をつなぐしくみを検討したりしました。
- ・教育委員会主催の会議に参加して、情報共有したり意見交換したりしました。

■ボッチャの普及を通じた障がいのある人と市民との交流

- ・社会福祉協議会事務局と共同で、「ボッチャ普及推進委員会」を運営し、ボッチャの福祉実践教室や体験コーナー及び競技大会を実施することで、障がい者と市民との交流を図る機会を作りました。

■生涯現役のまちづくり事業との連携

- ・生涯現役のまちづくり事業が推進している「健康自生地」の展開を通じて、障がい者の居場所作りの可能性について模索しました。

7 在宅福祉サービス部門

【決算額：296,894,145円】

(1) 訪問介護事業

【決算額：64,069,011円】

スマートフォンなどの活用により、利用者情報の随時把握、職員の業務管理の適正化を実施し、情報の共有をしながらの業務執行に努めました。他事業所との連携や研修により、利用者のニーズに応え自立に向けて質の高いサービスの提供に努めました。

■訪問介護

区分	延べ利用者（人）	延べ利用回数
事業対象者	13（12）	95（182）

要支援 1	1 2 8 (102)	8 4 7 (667)
要支援 2	1 3 6 (195)	1, 2 4 5 (1,714)
要介護 1	2 8 8 (255)	3, 6 6 9 (3,322)
要介護 2	2 4 5 (226)	3, 3 3 6 (3,222)
要介護 3	1 0 3 (118)	2, 0 9 4 (3,056)
要介護 4	8 6 (107)	2, 3 9 0 (2,546)
要介護 5	8 0 (97)	2, 1 2 3 (3,208)
合 計	1, 0 7 9 (1,112)	1 5, 7 9 9 (17,917)

(2) こころんサービス事業

【決算額：52,367,281円】

障がい相談員とのミーティングを定期的に持ち、情報の共有化、問題点の可視化、短期目標の設定等を行ってきました。自立に向けて何が必要かを明確にし、個別のニーズに応えられるよう努めました。

■利用状況

区 分	延べ利用者 (人)	延べ利用時間
居宅介護	5 2 1 (623)	5, 5 1 3 (5,720)
同行援護	5 5 (42)	2 9 5 (395)
重度訪問介護	1 0 (12)	8 0 (104)
移動支援	3 7 0 (364)	1, 8 2 8 (1,864)
合 計	9 5 6 (1,041)	7, 7 1 6 (8,083)

(3) 通所介護事業

【決算額：43,028,945円】

要介護状態又は要支援状態にある高齢者の方に対し、心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活が送れるように努めました。

南部保育園の園児との交流、外出や夏祭り、実習生との交流を行い、地域とのかかわりができる様に努めました。

さらに、医療面では胃ろう、吸痰導尿などが必要な方が安心してご利用できるよう各関係機関と綿密な連携を図り、ご家族、利用者の方への総合的なサービスの提供に努めました。

■主な行事

- ・誕生日会 (毎月)
- ・季節行事 (花見、七夕、敬老会、紅葉狩り、クリスマス会、初詣、節分等)

■利用実績

区 分	延べ利用回数
要支援 1	4 (0)
要支援 2	9 4 (31)
要介護 1	1, 0 7 4 (855)
要介護 2	8 8 2 (870)
要介護 3	7 0 6 (547)

要介護4	4 5 2 (1, 112)
要介護5	1 9 5 (247)
合 計	3, 4 0 7 (3, 662)

(4) 障害者（児）デイサービス事業

【決算額：7,307,000円】

障がい者（児）がその有する能力及び適正に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護等を行いました。

■利用状況

区 分	延べ利用者（人）
生活介護	9 6 4 (417)
放課後デイ	0 (65)
合 計	9 6 4 (482)

(5) 認知症対応型共同生活介護事業

【決算額：30,238,317円】

要介護者であって認知症状態にある高齢者に対し、共同生活において家庭的な環境の下で、食事を一緒に作り、洗濯物を干したり、一緒に掃除をしたり、生活の中での活動を通じて残存機能維持を図りました。又、認知症の進行防止と体力維持に向けて散歩を日課とし、本人の生活スタイルや希望に応えることを大切にしました。

■ 主な行事

- ・ 季節行事（相撲部屋見学、花見、七夕、クリスマス会、市外・県外外出等）
- ・ 家族定例会（年4回）
- ・ 他施設と行事交流（音楽・体操）
- ・ ボランティア活動（毎月清掃活動に参加）
- ・ 避難訓練

■入居状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数(人)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5 (6)	5 (6)	5 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 9 (72)

■利用者要介護度（平成31年3月末現在）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	3 (2)	1 (1)	1 (2)	1 (1)	0 (0)	6 (6)

(6) 地域共生型総合事業**【決算額：18,265,646円】**

総合事業対象者の高齢者に対して、その有する能力に応じ、自立した日常生活ができるよう、日常生活上の世話・支援及び機能訓練を行いました。

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他関係法令及びこの契約の定めに基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要支援状態の軽減や悪化の防止、もしくは要介護状態となることの予防のため、適切なサービスの提供に努めました。

■主な行事

- ・季節行事（花見、紅葉狩り等）
- ・テーブルゲーム
- ・おやつ作り
- ・脳トレ
- ・手作り品（財布等）制作、販売
- （季節の置物作り、干支の皮細工・飾り物、ハロウィンの飾り、紙細工の雛飾り、こいのぼり飾り）

■ 利用実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業 対象者	19 (15)	17 (15)	18 (17)	18 (19)	18 (19)	19 (23)	16 (21)	17 (21)	18 (21)	10 (21)	9 (19)	18 (21)
要支援 1	16 (8)	17 (10)	17 (11)	19 (13)	19 (14)	19 (11)	17 (13)	17 (13)	18 (12)	17 (15)	17 (15)	20 (14)
要支援 2	7 (4)	10 (4)	9 (3)	10 (4)	10 (3)	10 (4)	10 (4)	10 (4)	9 (4)	19 (4)	20 (5)	10 (6)
合計	42 (27)	44 (29)	44 (31)	47 (36)	47 (36)	48 (38)	43 (38)	44 (38)	45 (37)	46 (40)	46 (39)	48 (41)

(7) 地域共生型グループホーム事業**【決算額：81,617,945円】****■主な行事**

- ・季節行事・外出（初詣、相撲部屋見学、花見「梅・桜・菜の花・コスモス等」、七夕祭り、彼岸花見学、誕生日会、桜祭り、おまんこ祭り、外食、一泊旅行等）
- ・地域交流（認知症カフェ、青空市、お月見会、クリスマス会、餅つき大会、ピザパーティー、町内会行事参加等）
- ・ボランティア参加（アコーディオン・ウクレレ・ピアノ・ギター・ハーモニカ等演奏会、餅つき、人形劇、マジックショー、クリスマス会等）
- ・フラワーアレンジメント、絵、カラオケ参加）
- ・避難訓練、運営推進会議、家族会

■入居状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数(人)	18(18)	18(18)	18(18)	18(18)	18(18)	18(18)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18(18)	18(18)	18(18)	18(18)	18(18)	18(18)	216(216)

■利用者要介護度 (平成31年3月末現在)

区分	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	7(9)	6(4)	5(4)	0(1)	0(0)	18(18)

8 子育て支援部門(南部保育園事業)

【決算額：137,392,177円】

(1) 南部保育園管理運営事業

【決算額：137,392,177円】

民間保育所である高浜南部保育園の特性を十分に生かし、延長保育、一時保育、乳児保育、障がい児保育など多様化する保育ニーズに柔軟に対応し、共働き家庭の保育を支援するとともに、養護の行き届いた環境のもとで、心身の健全な育成に努めました。

■ 入園状況 (月平均137.1人)

定員	年間延べ園児数(人)
120	1,645(1,667)

■年齢別

0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	計
4.75人 (5人)	43.41人 (43.17人)	29.8人 (29.3人)	59.08人 (61.4人)	137.04人 (138.89人)

一時的保育事業

保護者の就労、疾病等緊急事由により、一時的に家庭での保育が困難となった児童を預かり、保護者の負担を和らげるよう子育て支援に努めました。

■受け入れ状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
人数(人)	65(69)	88(63)	113(68)	83(66)	90(46)	63(61)	90(64)
11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	
73(55)	74(62)	63(79)	102(123)	112(164)	1016(920)	3.49(3.16)	

9 子育て支援部門(中央保育園事業)**【決算額：141,054,593円】****(1) 中央保育園管理運営事業****【決算額：141,054,593円】**

園児や保護者が不安にならず、安心していただけるよう保育に努めました。児童センターとの連携を持ち、地域に根ざした保育園になるように取り組みました。

■ 入園状況 (月平均 182.3人)

定員	年間延べ園児数 (人)
190	2,188 (2,201)

■ 年齢別

0歳児	1～2歳児	3歳児	4～5歳児	H30合計
8.8人 (8.3人)	32.9人 (32.8人)	45人 (42.5人)	95.6人 (99.8人)	182.3人 (183.4人)

10 子育て支援部門(中央児童センター)**【決算額：22,404,988円】****(1) 中央児童センター管理運営事業****【決算額：13,281,786円】**

乳幼児親子に対し、発達センターと連携し健診後の気になる子のフォローとして、集団生活の経験を通し問題の軽減や改善を図り就園につなげていく親子教室や、児童に対し、豊かで多様な経験ができるような行事やクラブ活動を提供しました。

■ 受入状況

	利用者 (人)
自由遊び	3,044 (3,265)
運動遊び	2 (366)
母親クラブ	651 (514)
子どもクラブ	405 (453)
親子教室	511 (542)
センターキッズ	1,926 (1,423)
行事	829 (795)
計	7,368 (7,358)

(2) 中央児童クラブ運営事業**【決算額：9,123,202円】**

昼間保護者のいない家庭の小学生1～6年を対象に放課後や学校休業日の預かりをしています。異年齢集団の中で相手を思いやることや、陶芸や木工等のさまざまな活動を体験できる機会を設けたりし、一人ひとりが楽しく安心した放課後や長期休業を過ごせるようにしました。

■ 受入状況

	在籍数 (人)	延人数 (人)
4月	64 (58)	867 (820)
5月	43 (47)	588 (658)
6月	41 (47)	608 (754)
7月	49 (55)	643 (757)

8月	4 8 (55)	6 3 1 (743)
9月	4 2 (43)	5 0 1 (657)
10月	4 4 (42)	6 6 9 (680)
11月	4 3 (43)	6 2 0 (658)
12月	4 3 (43)	5 1 8 (626)
1月	4 0 (42)	4 6 5 (498)
2月	3 9 (42)	4 6 5 (561)
3月	3 9 (44)	5 5 6 (636)
計	5 3 5 (561)	7, 1 3 1 (8,048)

1 1 子育て支援部門(自主事業)

【決算額：8,097,170円】

(1) 子育て支援センター事業

【決算額：8,097,170円】

家庭の育児不安等の相談指導、子育てサークルの育成、親子遊びの援助等地域全体の子育て支援に努めました。

■ 受入状況

項目	回数	利用者(人)
相談(育児なんでも相談含)	随時	1 0 6 (86)
自主活動の日(自由遊び)	2 4 5 (243)	5, 2 5 4 (3,832)
遊びの時間	0 (23)	0 (388)
ママタイム(リフレッシュ講座)	1 0 (26)	1 9 9 (474)
親子体操「パパと一緒に♪」	6 (12)	1 8 2 (331)
ほっとひといきティータイム♪	1 1 (11)	2 6 5 (225)
親子教室	7 0 (67)	4 9 2 (423)
遊びのひろば	2 2 (29)	1 6 3 (211)
合同誕生会	1 2 (12)	1 6 6 (236)
わらしべうたde遊ぼう	1 8 (14)	2 2 2 (125)
英語教室	1 0 (7)	1 3 8 (147)
親子リトミック	6	1 6 2
パパママタイム「マタニティ整体」 [4月開始]	6	3 5
ストレッチ教室	6	5 7
スクラップクッキング	4	7 8
手芸教室	4	7 1
計	4 3 0 (444)	7, 5 9 0 (6478)

■ 保健センターとの合同事業

	回数	利用者(人)
のびのびひろば	1 2 (12)	3 6 1 (317)
パパママ教室	1 (2)	1 5 (48)
計	1 3 (14)	3 7 6 (365)

1 2 子育て支援部門(受託事業) 【決算額：14,636,412円】

(1) こども発達センター運営事業 【決算額：14,636,412円】

高浜市のこども発達センターに専門職を配置しました。

- 臨床心理士 2名
- 作業療法士 2名
- 言語聴覚士 1名

II 公益事業

1 3 地域福祉活動部門(公益受託事業) 【決算額：34,475,678円】

(1) 権利擁護支援センター運営事業 【決算額：12,046,278円】

重層化・複雑化する相談等に対し、権利擁護の幅広い視点での対応を推進する権利擁護支援センターの運営を行いました。

- 専門職や事業所からの相談件数 74(108)件

■権利擁護専門相談の開催

開催回数 9回(弁護士と福祉職 6回、司法書士と福祉職 3回)
(7回 弁護士と福祉職 6回、司法書士と福祉職 1回)

相談件数 7ケース(7ケース)

※従来、月2回開催だったのが、平成29年度より月1回の開催となる

■権利擁護支援研修会の開催

講師 上田 晴男氏(特定非営利活動法人PASネット理事長)

場所 いきいき広場2階 いきいきホール(全2回)

対象 いきいき広場職員 市内全事業所

	1回目	2回目
日時	8月31日(金) (14:00~16:30)	2月13日(水) (14:00~16:30)
テーマ	支援の捉え方と事案の見立て	意思決定支援と権利擁護
参加者	14名	13名

■成年後見制度研修の開催

講師 宮本 次郎氏(司法書士宮本事務所)

日時 1月10日(木) 15:15~16:30

場所 いきいき広場1階 会議室A

対象 いきいき広場相談窓口職員

参加者 23名

■テーマ別相談会の開催

講師 都築 真琴氏(都築法律事務所)

日時 3月27日(水) 10:30~12:00

場所 いきいき広場 1階 会議室A
 対象 支援者から見て成年後見制度の利用が必要と思われる方や親族
 参加者 7名 (内 支援者1名含む)

(2) 生活困窮者自立支援事業

【決算額：14,607,539円】

いきいき広場において開設された生活困窮相談窓口に自立相談支援員を配置し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施し、生活困窮者の自立促進を図りました。

■ 相談件数

区 分		合 計 (件)
新規相談受付件数 (本人同意なしを含む)		88 (126)
新規相談申込件数 (本人特定のみ・本人同意ありのみ)		50 (67)
支援決定・確認件数 (再プランを含む)		19 (—)
うち	家計相談支援事業利用	9 (6)
	自立相談支援事業による就労支援利用	11 (14)
支援実績 (面談) 支援実施延べ回数		364 (473)
支援実績 (支援調整会議) プラン及び評価		33 (63)

(3) 宅老所管理運営事業

【決算額：5,039,165円】

(4) ふれあいサロンあっぱ運営事業

【決算額：2,782,696円】

■ 新規登録者数 17人 (14人)

■ 施設延利用者数 6,158人 (6,655人)

■ 施設別利用状況

区 分	利用者 (人)	1日当たり (人)
じい&ばあ	895 (1,173)	5.8 (7.6)
いっぷく	807 (933)	7.8 (9.1)
あっぱ	1,762 (2,036)	17.4 (19.8)
こっちゃん	982 (1,006)	9.5 (9.9)
悠遊たかとり	1,712 (1,507)	16.8 (14.6)
合 計	6,158 (6,655)	

1.4 在宅福祉サービス部門

【決算額：39,524,647円】

(1) 訪問入浴介護事業

【決算額：3,081,206円】

要介護状態にある利用者に対し、心身の特性を踏まえ、残存機能を活かしながら、清潔の保持、気分転換をしていただけるよう努めました。

各関係機関と綿密な連携を図り、利用者1人1人のニーズにあわせ創意工夫し、安全に入浴していただけるように努めました。

区分	延べ利用者(人)	延べ利用回数
要支援1	—	—
要支援2	0 (0)	0 (0)
要介護1	0 (0)	0 (0)
要介護2	3 (0)	3 (0)
要介護3	12 (12)	50 (52)
要介護4	12 (13)	46 (52)
要介護5	26 (41)	130 (203)
合計	53 (66)	229 (307)

(2) 小規模多機能型居宅介護事業

【決算額：15,658,580円】

地域密着型サービス事業所として、地域との交流を視野に入れサービス提供をしてきました。

さわたりふれあいサロンの行事参加、中央保育園・みどり学園への卒園プレゼントなど小規模多機能型居宅介護「オリーブ」が地域と交流し地域住民に認知してもらえるよう活動しました。

■主な行事

- ・季節行事（初詣、節分、ひな祭り、花見、こどもの日、菖蒲見学、七夕、お月見会、遠足、ハロウィン、クリスマス会、バレンタイン等）
- ・避難訓練（沢渡町防災訓練参加）
- ・地域交流（保育園訪問、さわたりふれあいサロン行事、沢渡町運動会参加等）
- ・施設交流（市内事業所作品展出展、南部デイサービス行事参加等）

■利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	8(8)	8(8)	8(8)	8(8)	8(8)	8(7)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8(8)	7(8)	8(8)	8(8)	8(7)	8(7)	95(93)

■利用者要介護度（平成31年3月末現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	2(1)	0(0)	3(4)	2(2)	0(0)	0(0)	1(0)	8(7)

(3) 障害訪問入浴・日中一時支援事業

【決算額：3,261,460円】

入浴が困難な障がいのある方に対し、訪問による入浴サービスを提供し、身体の清潔の保持や心身機能の維持に努めました。また、障がい者を日常的に介護している家族に対しても、一時的な休息を提供できるよう、また安全に過ごせるよう努めました。

■障害訪問入浴 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	2	2	2	2	2	2
延べ利用者数	8 (8)	8 (7)	10 (7)	6 (10)	8 (7)	10 (8)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	2	2	2	2	2	24
8 (8)	8 (8)	9 (10)	8 (8)	8 (7)	10 (10)	101 (98)

■日中一時支援事業 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	14 (15)	15 (18)	14 (16)	13 (15)	11 (14)	13 (15)
延べ利用者数	46 (53)	45 (48)	49 (58)	40 (47)	40 (44)	39 (47)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13 (14)	12 (15)	13 (13)	13 (15)	12 (13)	12 (14)	155 (177)
44 (42)	42 (45)	42 (47)	42 (46)	38 (41)	39 (42)	506 (560)

(4) 居宅介護支援事業

【決算額：17,523,401円】

要介護状態又は要支援状態にある高齢者等に対し、利用者の心身の状況やその環境に応じて、利用者の意思及び人格を尊重し、各関係機関との綿密な連携を図り、適正な居宅介護支援に努めました。

また、24時間連絡や相談できる体制を整え、特定事業所加算を算定しました。

■延べ利用者 : 1,721人(1,219人)

■1月当たり平均：143.4人(101.5人)

■利用者要介護度(平成31年3月末現在)

区分	要支援1	要支援2	要介護1
人数(人)	4(5)	13(12)	33(37)

要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
19(25)	8(12)	8(4)	3(4)	88(99)

■介護認定調査件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	7(20)	5(16)	5(16)	3(5)	2(6)	1(7)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4(6)	3(4)	12(12)	13(6)	8(15)	7(9)	70(122)

15 子育て支援部門(公益自主事業)

【決算額：11,510,445円】

(1) 家庭的保育事業

【決算額：11,510,445円】

家庭的な雰囲気の中で保育し子育て家庭を支援しました。

■利用状況(月平均5人)

定員	年齢	年間延べ利用者(人)
5人	0歳児	0(0)
	1歳児	0(48)
	2歳児	60(12)
	計	60(60)

16 子育て支援部門(公益受託事業)

【決算額：21,226,706円】

(1) みどり学園管理運営事業

【決算額：21,226,706円】

小学校就学前の心身の発達に遅れのある児童をその保護者とともに集団療育し、児童の社会生活適応能力及び基本的生活習慣の自立促進並びに保護者の家庭における療育方法の習得に努めました。

幼児とその保護者を早期に療育につなげるため、健康推進グループの3歳児健診事後教室にスタッフとして参加しました。

こども発達センター専門職や保健師等関係機関と連携し、保護者研修や保護者個別相談を実施し、子どもの発達支援と保護者支援に取り組みました。

家族・OB・地域とのつながりを大切にし、日曜日のふれあい教室やなつまつり、運動会などを行いました。

■利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者(人)	369 (351)	472 (444)	416 (541)	706 (707)	415 (451)	341 (492)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
528 (441)	406 (499)	331 (427)	297 (368)	289 (433)	388 (490)	4,958 (5,644)	413.1 (470.3)

III 収益事業

17 地域福祉活動部門(収益自主事業)

【決算額：214,411円】

(1) 自動販売機設置事業

【決算額：214,411円】

社会福祉制度の維持・充実を図るには、本会においても財源調達力を高める必要があることから、飲料水自動販売機の設置による自主財源の確保に努めました。

■設置場所	高浜南部保育園	1台
	小規模多機能型居宅介護事業所「オリーブ」	1台
	いきいき広場3階	2台

		高浜南部 保育園	小規模多機能 型居宅介護 「カーブ」	いきいき広場	計
売上本数 (本)	年間	1, 141 (1,158)	700 (1,120)	5, 834 (6,587)	7, 675 (8,865)
	月平均	104 (96)	64 (93)	530 (549)	698 (738)
売上金額 (円)	年間	39, 935 (40,530)	24, 430 (39,200)	150, 046 (170,154)	214, 411 (249,884)
	月平均	3, 630 (3,377)	2, 221 (3,267)	14, 073 (14,179)	19, 924 (20,823)

18 理事会、評議員会、監査会開催状況

■ 理事 平成30年6月4日（月） 高浜市いきいき広場 会議室B

○主な議案

- ・平成29年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会事業報告の承認について
- ・平成29年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会収支決算の承認について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会訪問介護相当サービス運営規程の制定について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程及び社会福祉法人高浜市社会福祉協議会指定通所介護・指定介護予防通所介護事業所運営規程の一部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会指定認知症対応型共同生活介護（指定介護予防認知症対応型共同生活介護）事業所運営規程の一部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会こころんサービス事業所運営規程、社会福祉法人高浜市社会福祉協議会指定訪問入浴介護（介護予防訪問入浴介護）事業所運営規程及び社会福祉法人高浜市社会福祉協議会高浜市介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスA運営規程の一部改正について
- ・平成30年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第1回）について
社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員会の招集について

○報告事項

- ・給食調理業務委託契約（中央保育園）について
- ・給食調理業務委託契約（高浜南部保育園・南部デイサービスセンター）について
- ・会長、常務理事の職務の執行状況について

■ 評議員会 平成30年6月19日（火） いきいき広場 会議室B

○主な議案

- ・平成29年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会事業報告の承認について
- ・平成29年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会収支決算の承認について
- ・平成30年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第1回）について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会理事の選任について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会理事の選任について

■ 理事会 平成31年3月18日（月） いきいき広場 会議室B

○報告事項

- ・専決事項 平成30年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第2回）について
- ・会長、常務理事の職務の執行状況について

○主な議案

- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会就業規則の一部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する規程の一部改正について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会中央児童クラブの設置及び運営に関する規程の一部改正について
- ・平成30年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第3回）について
- ・平成31年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成31年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会予算について
- ・給食調理業務委託（中央保育園）に係る随意契約について
- ・給食調理業務委託（高浜南部保育園・南部デイサービスセンター）に係る随意契約について
- ・社会福祉法人高浜市社会福祉協議会評議員会の招集について

■ 評議員会 平成31年3月26日（火） いきいき広場 会議室A

○主な議案

- ・平成30年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会補正予算（第3回）について
- ・平成31年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成31年度社会福祉法人高浜市社会福祉協議会予算について